

令和4年度 全国学力・学習状況調査について

4月に6年生が行った全国学力・学習状況調査の結果がまとまりましたので概要をお伝えします。

教科の状況調査結果

国語		区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
				本校	神奈川県(公立)	全国(公立)
		全体	14	66	65	65.6
学習指導 要領の 内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	5	64.6	65.6	69.0
		(2) 情報の扱い方に関する事項	0			
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	1	72.0	73.2	77.9
	思考力、判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと	2	67.7	66.3	66.2
		B 書くこと	2	47.6	47.9	48.5
C 読むこと		4	73.4	69.5	66.6	
評価の観点		知識・技能	6	65.9	66.8	70.5
		思考・判断・表現	8	65.5	63.3	62.0

○全体の正答率は、県や全国の平均とほぼ同等の水準となりました。「書くこと」については、県平均を約4%上回っています。

▲漢字を文の中で正しく使う問題(3問出題)では、7%ほど全国の平均を下回っています。

算数		区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
				本校	神奈川県(公立)	全国(公立)
		全体	16	64	64	63.2
学習指導要領の領域		A 数と計算	6	71.5	69.4	69.8
		B 図形	4	66.5	64.9	64.0
		C 測定	0			
		C 変化と関係	4	51.2	53.3	51.3
		D データの活用	3	68.1	69.5	68.7
評価の観点		知識・技能	9	69.4	69.0	68.2
		思考・判断・表現	7	58.1	57.5	56.7

○全体の正答率は、県や全国の平均とほぼ同等の水準です。

▲数量と割合の関係に関する問題では、本校の正答率が約20%でした。

理科		区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
				本校	神奈川県(公立)	全国(公立)
		全体	17	66	63	63.3
学習指導要領の 区分・領域	A区分	「エネルギー」を柱とする領域	4	52.0	51.8	51.6
		「粒子」を柱とする領域	5	66.2	59.5	60.4
	B区分	「生命」を柱とする領域	5	79.4	75.6	75.0
		「地球」を柱とする領域	5	66.4	64.9	64.6
評価の観点		知識・技能	6	66.8	61.8	62.5
		思考・判断・表現	11	66.1	64.2	63.7

○全体の正答率は、県や全国の平均より3%ほど高い結果となりました。

○気付いたことを基に問題を見いだす問題(3問出題)では、2~8%全国の平均を上回っています。

児童質問紙 回答結果

「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか」や「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか」に対する肯定的回答は、昨年度は全国の平均よりも10%近く下回っていましたが、今年度は全国よりも4~5%低い結果となり、若干の向上が見られます。

まとめ

各教科の学力については、概ね全国の水準と同等かわずかに上回る結果となりました。学習意識では、粘り強さや自己有用感について、全国の平均より下回っていますが、昨年度と比べると向上しています。本校の中期取組目標として、「自分から課題に取り組み、最後まであきらめずに、じっくりと考えられる」子どもの育成を掲げています。関心を高め、粘り強く主体的に学習に取り組みながら一人ひとりが力を伸ばせるように、日々の教材研究や校内重点研究などを通じて今後も授業改善に取り組んで参ります。